

おかもと陽子通信

Vol 22 2018年10月



守りたいあなたの
いのち、生活を!!



発行) 宗像市議会議員 岡本陽子

自宅 福岡県宗像市自由ヶ丘 7-6-1

TEL/FAX (0940) 25-5344

ホームページ <http://www.okamoto-youko.jp/>

メール taiyoudaisukinayoko@gmail.com

ご意見・ご要望はホームページからも投稿できます。何でもお気軽にご相談下さい。



平成 30 年 9 月 定例議会が開催されました。(9/3~9/26)

やっと涼しくなった~



おかもと陽子の 一般質問



豪雨、洪水対策



7月豪雨の際、冠水によって避難所となっている河東コミセンが使えず、近くの小学校、体育館へと住民の避難場所が移動した。洪水時の避難所の見直しが必要では？

(回答)

想定外の山田川の氾濫、ため池の決壊の恐れがあり、避難者が増えた事(7/6大雨による避難者277人、うち河東地区168人)が避難所変更の大きな要因である。7月豪雨の対応を検証した後に必要な修正を行う予定である。避難訓練時に、市民には自分が危険区域に住んでいるのか、避難経路にどのような危険性があるのか災害の状況にあった正しい避難行動等について理解が深められるように関わりたいと考えている。

学校施設のエアコン対策

市内小中学校普通教室への設置が決定した。来年9月からエアコンが使えるよう対応しているとのことであるが、6月、7月の暑さ対策をどうするのか？

(回答)

近年の猛暑の状況を見ると、もはや「暑さに耐えられる子どもの育成。」という精神論は通用しない。来年の暑さ対策に関しては、夏休み開始を通常より早めにすることを検討しているところである。できるだけ早く、エアコン設置、管理する業者の選定を行った上で、議会承認をいただく。来年9月までのエアコン設置、2学期から使用開始のため全力で取り組む。暑さ対策の為、水分補給による熱中症対策も具体的に考え学校現場が困らないようにしたい。

今年の夏はすべてが想定外

宗像市の今年7、8月の気温は、人の体温近くの35℃以上~37℃未満の日が14日。この夏の暑さは災害レベルと言われました。大雨による冠水被害、台風の強風による被害。想定外の自然災害が起こる今、**災害対策の見直しが必要ではないか**について質問をしました。その中のいくつかをご紹介します。



市内の至る所で冠水被害が・・・。

J Aむなかた周辺の田畑は冠水し、海が広がっているようにも見えました。

平成30年7月6日、
7時30分撮影

学校のブロック塀、体育館洋式トイレ対策

通学路ブロック塀の点検箇所、その状況と今後の対策は？学校が災害時の避難所機能を持ち、日常生活においても外部利用者が使用する学校(特に体育館)トイレの洋式化は急ぐ必要がある。未だ洋式化に踏み切れていない学校が多い。その進捗状況は？

(回答)

6月21日~7月3日に小中学校、義務教育学校21校の通学路傍のブロック塀を調査点検。安全対策が必要な学校は5校(小学校4校、中学校1校)であった。塀の補強、撤去などに取り組む。トイレ改修は大島義務教育学校、地島小学校、玄海東小学校の洋式化が終了。未改修の学校に対して順次取り組んでいく。

災害時給油所緊急車両の指定

これまでの大規模災害において緊急車両の給油が課題となっている。本市の災害時緊急車両の種類決定と指定給油所との提携はどうなっているか？

(回答)

災害時の緊急車両に関しては県の指示で動くようになっているが、福岡県はそのマニュアル作成は行っていない。市としては緊急車両の種類は確定していないが、3カ所の指定給油所がある。





●決算の概要

普通会計【総計】 歳入 382億 606万円（前年度比 12.2%増） **うち一般会計** 381億 9,602万円
 歳出 370億 2,554万円（前年度比 11.2%増） **うち一般会計** 370億 1,781万円
その他特別会計 歳入 224億 4,899万円（前年度比 0.1%減）
【総計】 歳出 218億 1,254万円（前年度比 0.3%減）

●補正予算の概要

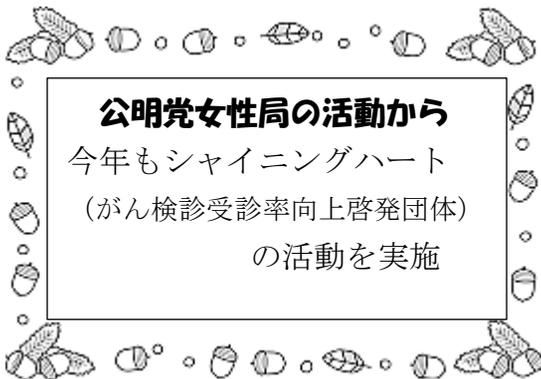
予算規模 補正前：351億 6,965万円 補正額：13億 5,207万 3千円
 補正後：365億 2,172万 3千円

●**決算の監査意見**では、扶助費が増加したことなどにより経常収支比率が悪化（プラン目標値 90.0%以下に対して 92.9%）したものの総合的に判断すると、財政の状態や経営の成績は良好に推移している。今後、社会保障費経費や公共施設の更新費用などが増加することが見込まれる。限られた財源を最大限有効活用し、必要な施策を推進するために財政見通しを適切に把握しながら行財政の健全運営に努めることを望むと総括しています。



●児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書案● 全員賛成で採択

政府は児童福祉法等を改正し、児童虐待防止対策を強化してきた。しかし、今年、東京都目黒区で両親から虐待を受け女児が死亡するという痛ましい事件が発生した。平成 28 年度全国の児童相談所に寄せられた児童虐待相談件数は 12 万件を超え、5 年前と比べると倍増している。児童相談所と関係機関の情報共有の見直し、対応する組織の明確化、児童虐待防止体制を強化するプランの新たな策定、地方交付税措置を含めた必要な財源確保等、現在の児童虐待防止のあり方を見直し、児童虐待防止対策のさらなる強化を求めるもの。



10月はピンクリボン月間。今年は公明党女性局主催のがん検診受診率向上啓発活動に公明党宗像市議（石松、岡本）も参加。市内2ヶ所で街頭演説、啓発チラシの配布を実施（10月11日）

今年はずっと宗像市、福津市2市合同で実施。この写真は平成25年、福津イオンにて2市合同で活動した時の様子です。

9月16日、宗像ユリックスでの時局講演会で熱く語る

ろくた しまの六太 in 宗像

2019年 参院選福岡選挙区予定候補



しまの六太にとって最後の教員生活を送った宗像には特別な思いがあります。「跳べた、泳げた。」世界一受けたい授業で紹介され、どんな生徒もやればできる驚異の下野式体育の実践。いじめや不登校に取り組んだ経験をこれからは国会の場で活かしたいと決意。それは、会場に集まった 681 人の参加者の多くが涙を流すほどの感動を与えました。参加者からは、学校現場での経験を活かし、日本の教育の発展のため貢献して欲しいとの声もいただきました。

(画像引用：しまの六太オフィシャルサイト)